

平成23年度事業経過報告

主なる会議等の種類と開催回数

総	会	1回	歯科技工士生涯研修中央本部委員会	4回					
代	議	員	会	1回	東北地方太平洋沖地震 災害対策本部会議	7回			
議	事	運	営	委	員	会	1回	中央選挙管理委員会（日技代議員）	2回
資	格	審	査	委	員	会	1回	役員選挙管理委員会	1回
会	計	監	査	（	会	）	3回	事業推進対策検討会	2回
理	事	会	12回	組織拡充対策検討会	1回				
学	術	部	会	4回	日技厚生会運営委員会	1回			
広	報	部	会	5回	日技厚生会役員会	4回			
歯	科	技	工	管	理	部	会	4回	

総括報告

平成 23 年度は、まさしく東日本大震災への対応の渦中からスタートした。東北を中心に関東、上信越まで広域にわたり甚大な被害をもたらしたことから、早々に地震災害対策本部を改組して全力で取り組んだ。会員をはじめ歯科に携わる仲間の善意を被災地に届け、被災者と被災地会員への支援の一助とすることができた。今後も息の長い支援を訴えていかなければならない。

厚生労働省から発出された 4 通の通知は、国民に良質な歯科補てつ物等の提供を図るため、歯科医療に関わるすべての者（機関）が、歯科補てつ物等の品質管理を推進し、歯科医療機関や委託先である歯科技工所の歯科補てつ物等の作成履歴を追跡できる仕組みを確立し、必要に応じて歯科補てつ物等に関する情報を共有できる、安心で安全な歯科医療を確保する動きとなった。

歯科技工士国家試験の全国統一実施は、厚生労働大臣宛に日本歯科医師会、全国歯科技工士教育協議会と日本歯科技工士会との連名で「歯科技工士国家試験の全国統一化に関する要望書」を提出し、厚生労働省主幹のワーキンググループ等、数度に亘り意見交換会を開催するなど、具体策の策定段階に入ったことから、関係法令の改正に向け遺漏のないよう対応した。

「公益法人制度改革関連三法」の施行に伴う日技の公益社団法人認定作業も滞りなく完了し、内閣府から 3 月 22 日に認定書を受領した。これも関係諸氏の努力の賜物であり、会員の皆様と喜びを分かち合い、公益法人に相応しい安定した運営に取り組まなければならない。また、公益事業の中核をなす「生涯研修事業」についても、引き続き厚生労働省の後援を得、一層の充実が望まれる。さらに、実施 10 年目を迎えた厚生労働省委託事業「感染症予防歯科技工士講習会」は、全ての都道府県を一巡した。日本歯科医師会との共催事業として開催地行政のご協力も頂き、多数の参加者を得、多くの実績を積み上げることができた。今後も公益事業の一環として取り組んでまいりたい。

近年の組織率の低下は看過できないことから、担当者の熱意で『すべての歯科技工士の皆さまへ～伝えたい、わたしたちの想い～』を発行し、日技の事業方針や施策等を正確に知っていただくための、組織拡大のツールのひとつとした。その巻末に東日本大震災から、“われわれは「仲間」であり、今、われわれが何をすべきかを教えて頂きました。「仲間」とは、ただ懸案を解決するだけではなく、お互いに助け合う存在でもあるのです。”と括っている。まさに、この激動の移行期の 1 年を執行してきた実感として総括する。